

序

博物館活動において、調査、研究は極めて重要なことであり、かつ、その結果は記録にまとめ、展示や教育普及活動の面にも反映させなければなりません。そのために当館では学芸員が主になって、毎年欠かさず紀要を出してきました。

ところで、琉球列島は沖縄本島を中心に、60余の島々から形成されており、これらの広範な地域を、自然や人文の各分野にわたって調査、研究するという事は、当館の少ない学芸員のみでは、容易なことではありません。けれども、地域主義が叫ばれ、地方文化の重要性が強調される今日、沖縄の自然や文化は、その地域の人々のみならず、広く内外の人々にもいろいろな示唆を与えております。特に亜熱帯の島々で、自然の恵みを受けながら、古くから諸外国との善隣外交によって生み出された沖縄独特の島嶼文化は、人間本来の暮らしのあり方まで考えさせてくれます。そのようなことを思うにつけ、私達はそれらの調査・研究をいっそう活発に行なわなければならない、と思うのであります。

一方、博物館は社会教育の機関であると同時に、学問研究の場でもあり、しかもそれは種々の資料を通して、じかにいろいろのことを観客や研究者に感じさせます。そのためにも充分なる調査研究が必要不可欠となるわけであります。

このたびの紀要の発行にあたって、調査にご協力下さった方々に厚く感謝を申し上げ、併せてご批評賜わるようお願いいたす次第であります。

昭和55年3月15日

沖縄県立博物館長 外間正幸